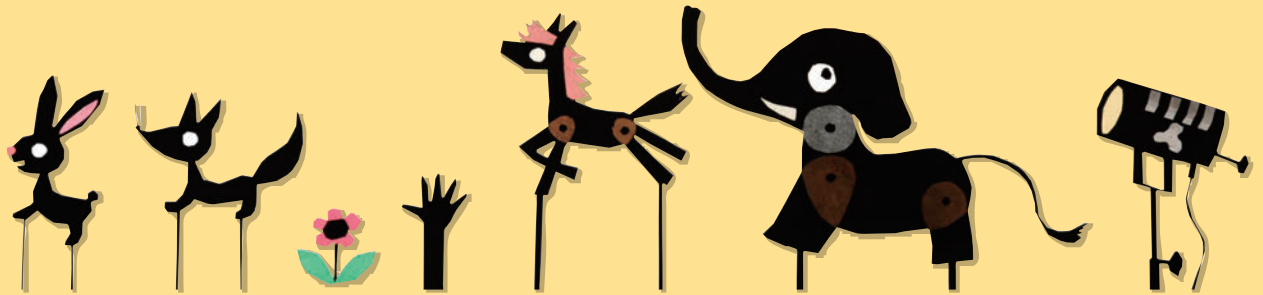


アコム

“みる”コンサート物語

MIRU CONCERT MONOGATARI



こころのこぼれ
笑顔のおてつだい

それは、目だけでなく、 耳で、心で、体で“みる”コンサート。

「誰かのために何かをしたい」「多くの人の笑顔が見たい」

「地域社会と良好な関係を築きたい」という、3つの思いからはじまりました。

“みる”コンサート物語って、ちょっと不思議な呼び方だと思いませんか？

それは、このコンサートが、カラフルな「影絵劇」とピアノトリオの「生演奏」、

そして「語り」を組み合わせた、独創的な芸術だから。

光と影で彩られた幻想的な影絵劇に命を吹き込む音楽と語り。

すべてが一体となって、感動の世界をつくりあげています。

さらに、もうひとつの特徴は、どなたにも同じ感動を味わっていただくため、

“バリアフリーコンサート”として開催されていること。

目だけでなく、耳で、心で、体で“みる”コンサートなのです。

1994年の初回公演以来、これまでに全国各地で240回以上の公演をおこない、

23万人を超えるみなさまにご来場いただいている『アコム“みる”コンサート物語』は、

アコムの社会貢献活動を代表する活動へと成長しています。

“みる”コンサート物語についての詳細はホームページでご覧になれます。

<https://www.acom.co.jp/corp/csr/theme/philanthropy/concert/>



公演は2部形式で構成され、ピアノトリオによる季節感を取り入れたコンサートと、光と影によって幻想的に彩られた影絵が、みなさまを心あたたまる世界へと誘います。



多くの人の笑顔が見たい。

世代を超え、ハンデを超えて楽しめる、バリアフリーコンサート。



“みる”コンサート物語は、小さなお子さまからお年寄りまで、世代を超えて楽しめるのはもちろん、ハンディキャップのある方にも楽しんでいただけるような配慮をした“バリアフリーコンサート”。舞台に手話通訳をとり入れたり、車イス専用席を充実させるなど、さまざまな工夫をしています。

車イス席の充実

これまでの公演の歩みの中で、「車イスの席が少ない」「後方で見づらい」などのご意見をいただきました。こうした声に応えるため、ステージ前の座席を取り外した車イス専用席をご用意。その数を充実させ、なるべく多くの方に車イスのまま鑑賞していただけるようにしています。ご家族も、同じ場所と一緒にご覧になれますので安心です（専用席の数は会場によって異なります）。



座席を取りはずすとこのように▶

スクラッチくじ

スクラッチくじの景品には、開催地の授産施設などでつくられている手芸品や紙製品、木工品などさまざまな商品と、“みる”コンサート物語オリジナルグッズを用意しています。授産施設などの商品を一人でも多くの方に知ってもらうことで、販路拡大の一助になればと考えています。



手話通訳

耳の不自由な方にも楽しんでいただけるよう、手話通訳をとり入れています。ご協力いただいているのは、大学の手話サークルなどのみなさん。ステージでは、出演者とお客さまが一体となって手話で歌う「手話歌」のコーナーも設けられるなど、あたたかい交流が図られています。



封入作業

ご来場いただいたみなさん全員に配布している袋の中には、パンフレットのほか、プログラム、アンケート、スクラッチくじなどが入っています。これらは、東京都大田区の知的障害者就労支援施設のみなさんが心を込めて封入してくださっています。

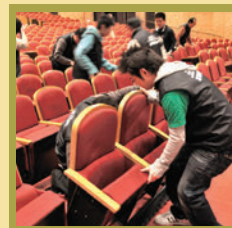


支えているのは、ボランティア。

“みる”コンサート物語は、自主運営による手づくりのコンサート。



▲お客さまを最高の笑顔でお迎えしよう！（開場前の運営スタッフミーティング）



“みる”コンサート物語は、ボランティアの協力によって運営されています。「こんにちは！」と笑顔で迎えてくれる人、座席まで案内してくれる人、景品交換をしてくれる人などは、すべてボランティアの人たち。みんなが心をひとつにして、とびっきりの笑顔で、お客さまのお手伝いをしています。

笑顔のおてつだい

“みる”コンサート物語は、アコムのみならず、地方自治体や地域の市民ボランティアの方々にもご協力いただきながら運営しています。そこに共通するのは、“誰かのために何かをしたい”“多くの人の笑顔が見たい”という思い。お客さまのうれしい顔や、ありがとうの言葉が最高！そんな思いのもとに、自分たちも笑顔でお手伝いを楽しんでいます。それが、「笑顔のおてつだい」です。

こころのバリアフリー

心のバリアフリーとは、“できる人ができることをしよう”ということ。お客さまが入場されてから会場を後にされるまでの時間をずっと気持ちよく過ごしていただきたいとの思いを込めた、ボランティア一人ひとりの気づきと行動です。誰もが、「お手伝いしましょうか？」と声をかける、「どうぞ」と扉を開ける、とびきりの笑顔で接する…。ハード面では対応できないことを、“できる人ができることをする”ことでカバーしています。



不朽の名作を、感動の影絵劇に。

ステージは、この人たちの手でつくられています。

影絵劇団かしの樹

1982年の設立以来、こどもから大人まで幅広い年代の方々へ“本物”の舞台芸術をお届けしたいと、さまざまな童話や昔話を影絵劇化し、日本全国の小中学校や劇場での公演、海外公演、テレビへの出演など、幅広く活動しています。

公式ホームページ <http://www.kashi-no-ki.co.jp/>

“みる”コンサート物語は、回を重ねながら、20年以上も公演を続けています。これまでの歩みのなかで、アニメーションとはまた違う、ひとつの良質なジャンルをつくることができたのではないかと考えています。“みる”コンサート物語では、みなさんと真の感動を共有するため、影絵も演奏も人の手、語りも語り手の口からというように、すべてのことを、できるかぎり人の手や肉声を介して伝えるようにしています。会場の雰囲気はいつもあたたかいのは、それを感じてもらっているからでしょう。

影絵デザイン・演出

たか またりょう じ
鷹股良至

影絵劇団かしの樹の設立初期からのメンバーで、主に「司会」「語り」として出演しています。現在は、自ら主宰する『劇団しゅうくりー夢』を中心に、女優をはじめ、舞台・映画の脚本や演出を手がけるなど幅広く活躍しています。“みる”コンサート物語で上演する「星の王子さま」の台本も松田さんの手によるものです。

公式ホームページ <http://www.o-ren.com/chou/>

司会・語り

まつ だ たまき
松田 環



音楽・演奏

プルミエ

ピアノと音楽の富沢恵、ヴァイオリンの笹部裕子、チェロの三枝慎子によるピアノトリオ。ジャンルにとらわれない自由な感覚のオリジナル曲と、躍動感あふれる演奏で高い評価を得ています。影絵劇団かしの樹とは、“みる”コンサート物語の初演時(1994)から共演。ぴったりと息のあったステージで多くの人を魅了しています。

大学在学中に手話ライブバンド『こころおと』を結成。卒業後、音楽活動の傍ら日本テレビ系『新・星の金貨』やTBS系『すずがくれた音』などテレビドラマの手話指導、『パベル』や『ゆずり葉』などの映画協力、各地における手話教室の講師など幅広く活躍しています。

公式ホームページ <http://kokoro-oto.com/>

手話監修・通訳

たけ い まこと
武井 誠



想像を超える、幻想の世界。

これまでに影絵劇で上演された物語をご紹介します。

ゼロ弾きのゴージュ

原作 宮沢賢治



誰もが知っている宮沢賢治の名作童話。

ピーター・パン

原作 ジェームス・M・バリ



100年もの間、世界で愛されてきた名作ファンタジー。

星の王子さま

原作 サン＝テグジュペリ



世界中で愛されている物語を松田環が影絵劇として書き下ろしました。

100万回生きたねこ

原作 佐野洋子 講談社刊



ロングセラー絵本『100万回生きたねこ』を影絵劇に。

竹取物語



平安時代に書かれたといわれている日本最古の物語。

あたたかな励ましをありがとう。

お客さまからいただいたアンケートの中から、「ありがとう」の声を抜粋してご紹介します。

公演への

ありがとう

6才の孫と、このような素晴らしいコンサートに来られてよかったです。素敵な思い出のひとつになりました。本当にありがとうございました。これからも応援しております。

子どもがまだ小さいので、なかなかコンサートには連れて行けず、このような機会を設けていただき感謝しています。子どもでも楽しめるように工夫されており、最後まで楽しんでいました。

影絵と演奏がマッチしていて、とても素敵でした。夢の世界にいるような気分で、心も癒されました。

楽しいコンサートをありがとうございました。地震のあとで暗かった心が、とても温かくなりました。

バリアフリーへの

ありがとう

支援学校に通う自閉症の子の親です。コンサートを観に行く機会を持ってありがたく思います。この先も続けてください。

聴覚障がい者の母と、初めて一緒にコンサートを楽しむことができました。ステキな影絵劇を本当にありがとうございました。

駐車場から車イス利用者の誘導をしていただき、安心して観ることができました。手話もあり、あたたかい雰囲気とてもよかったです。

耳が不自由で、知的障がいがあり、車イス使用の子どもとても楽しめる内容で、驚きました。障がい児の親としては、一生このようなコンサートは観ることができないとあきらめていたので、感動がとても大きかったです。

ボランティアへの

ありがとう

受付に入ってからすぐ、スタッフのみなさんが笑顔で対応してくださっている姿が素敵でした。

スタッフの方々はとても親切で、心遣いがすばらしいと思いました。ありがとうございました。

ボランティアの方々、車イスのお客さまのサポートをていねいに行われている様子を、とても感心いたしました。

スタッフの方々ボランティアであることを入場してから知りました。ていねいで、子どもにも目線を合わせてくださって“ココロ”を感じました。

日本中で、笑顔のロングラン。

1994年の初回公演以来、公演数は240回以上。
来場者数は23万人を超えています。

トピックスで見る アコム“みる”コンサート物語のあゆみ

1994年1月【第1回公演】

影絵劇団かしの樹の主催で
“みる”コンサート物語の公演がスタート
(特別協賛)

開催地：東京都渋谷区／演目：ゼロ弾きのゴーシュ

1994年7月【第2回公演】

新しい芸術にアコムが共鳴して
初めての主催公演

開催地：愛知県松山市／演目：ゼロ弾きのゴーシュ

1996年7月【第9・10回公演】

アコム協賛の特別公演として
中国公演(北京と上海)がおこなわれる
(特別協賛)

開催地：中国 北京・上海／演目：ゼロ弾きのゴーシュ

1996年12月【第13回公演】

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団との
ジョイント企画によるクリスマスコンサート
(特別協賛)

開催地：東京都江東区／演目：ゼロ弾きのゴーシュ

1997年6月【第18回公演】

影絵劇団かしの樹の主催で
「竹取物語」初上演
(特別協賛)

開催地：埼玉県春日部市／演目：竹取物語

1997年9月【第19回公演】

アコム社員によりステージ上で
初めての手話通訳

開催地：千葉県千葉市／演目：ゼロ弾きのゴーシュ

2000年7月【第39回公演】

開催地のボランティアによる
手話通訳がはじまる

開催地：広島県福山市／演目：ゼロ弾きのゴーシュ

2000年10月【第43回公演】

誰もが楽しめる
「バリアフリーコンサート」
として位置づけられる

開催地：山梨県甲府市／演目：ゼロ弾きのゴーシュ

2000年10月【第44回公演】

耳の不自由な方に風船
(おなかに抱えると振動で音を感じる)
をご用意

開催地：長野県松本市／演目：ゼロ弾きのゴーシュ

2001年2月【第48回公演】

武井誠さんによる手話通訳がはじまる

開催地：東京都府中市／演目：ゼロ弾きのゴーシュ

2001年3月【第50回公演】

日本セントラル・フィルハーモニー管弦楽団との
オーケストラジョイントコンサート

開催地：神奈川県茅ヶ崎市／演目：ゼロ弾きのゴーシュ

2001年4月【第51回公演】

「100万回生きたねこ」初上演

開催地：岩手県盛岡市／演目：100万回生きたねこ

<p>2004年2月【第75回公演】</p> <p>「ピーター・パン」初上演</p> <p>開催地：香川県丸亀市／演目：ピーター・パン</p>	<p>2006年3月【第100回公演】</p> <p>沖縄で100回目の公演を達成</p> <p>開催地：沖縄県沖縄市／演目：ピーター・パン</p>	<p>2006年9月【第106回公演】</p> <p>北海道室蘭公演で 今までの総来場者数が10万人を突破</p> <p>開催地：北海道室蘭市／演目：ピーター・パン</p>	<p>2007年9月【第117回公演】</p> <p>47都道府県すべてでの開催を達成</p> <p>開催地：徳島県鳴門市／演目：ゼロ弾きのゴージュ</p>
<p>2008年5月【第124回公演】</p> <p>環境に配慮したイベントとして 地球温暖化防止への取り組みを開始</p> <p>開催地：福岡県福岡市／演目：ゼロ弾きのゴージュ</p>	<p>2010年8月【第145回公演】</p> <p>福祉の広場実行委員会との共催公演</p> <p>開催地：神奈川県厚木市／演目：100万回生きたねこ</p>	<p>2011年1月【第150回公演】</p> <p>東京都昭島市で150回目の公演を達成</p> <p>開催地：東京都昭島市／演目：100万回生きたねこ</p>	<p>2011年7月【第154/第155回公演】</p> <p>東日本大震災被災地支援のため 義援金募金を実施^{※1}</p> <p>開催地：北海道札幌市、苫小牧市／演目：ゼロ弾きのゴージュ</p>
<p>2011年9月【第157/第158回公演】</p> <p>東日本大震災被災地支援のため 義援金募金を実施^{※1}</p> <p>開催地：大阪府柏原市、泉佐野市／演目：ゼロ弾きのゴージュ</p>	<p>2011年9月【第158回公演】</p> <p>大阪府泉佐野公演で 来場者数が15万人を突破</p> <p>開催地：大阪府泉佐野市／演目：ゼロ弾きのゴージュ</p>	<p>2012年3月【第161回公演】</p> <p>「星の王子さま」初上演</p> <p>開催地：福岡県北九州市／演目：星の王子さま</p>	<p>2016年2月【第200回公演】</p> <p>福岡県飯塚市で200回目の公演を達成</p> <p>開催地：福岡県飯塚市／演目：ピーター・パン</p>
<p>2016年8月【第209回公演】</p> <p>神奈川県厚木公演（共催）で 来場者数が20万人を突破</p> <p>開催地：神奈川県厚木市／演目：100万回生きたねこ</p>	<p>2017年5月【第215回公演】</p> <p>耳の不自由な方向けに 「体感音響システム^{※2}」を使用</p> <p>開催地：東京都昭島市／演目：100万回生きたねこ</p>	<p>2018年7月【第226回公演】</p> <p>耳の不自由な方向けに「日本語字幕」を使用</p> <p>開催地：大阪府堺市／演目：ゼロ弾きのゴージュ</p>	<p>2018年10月</p> <p>メセナアワード^{※3}2018において、 「優秀賞」を受賞</p>

※1 みなさまからお預かりした335,009円にアコムが同額を提出し、合計670,018円を2011年9月22日(木)に日本赤十字社へ寄付しました。

※2 振動装置が組み込まれたポーチとサブトクッションにより、音を振動で感じることができるもの

※3 メセナアワードとは、公益社団法人企業メセナ協議会が主催（後援：文化庁）し、芸術・文化振興による社会創造に貢献した優れた活動（メセナ活動）を表彰するもの

もっと、人のなかへ。

企業市民として、社会とふれあうアコム。

アコムが考えるCSRとは、企業理念に基づいた事業活動やその他の活動を通じて、企業の社会的責任と使命を果たし、持続可能な社会の実現に貢献することです。

アコムのCSR



アコムの社会貢献活動方針

アコムは、経営の基本的な理念として、創業の精神に「信頼の輪」を、企業理念に「生活文化の向上に貢献する」を掲げております。

社会貢献活動においても、この理念に基づいて、社会福祉、地域貢献等、さまざまな活動を通じて、地域社会と良好な関係を築きつつ、「身近なアコム」と「社会に調和した企業市民」を目指しております。

アコムの社会貢献活動の詳細はホームページでご覧になれます。
<https://www.acom.co.jp/corp/csr/>

いつまでも、変わらないもの。

創業の精神を受け継ぐ、企業理念と社名の由来。

社名の由来

アコムの社名は、「愛情」(Affection)、「信頼」(Confidence)、「節度」(Moderation)の頭文字をとって命名されています。

企業理念

アコムは人間尊重の精神と
お客さま第一義に基づき
創造と革新の経営を通じて
楽しく豊かなパーソナルライフの実現と
生活文化の向上に貢献する

創業の精神

アコムは1936年、神戸市で「丸糸呉服店」として創業しました。創業者は、この商いははじめるにあたって、「人を信頼する、人から信頼される」という相互信頼の精神を大切にしていくことを心に誓い、その輪を拡げていきたいとの思いを『信頼の輪』の4文字に込めました。この創業の精神は、消費者金融サービスを中核事業とする現在もなお、すべての行動指針として脈々と受け継がれています。



▲丸糸呉服店の「反物籠」と「豊紙」

信
頼
の
輪

アコムの理念の詳細はホームページでご覧になれます。
<https://www.acom.co.jp/corp/about-us/philosophy/>

思い出シート

～絵や言葉で思い出を残そう～

🎵 アコム“みる”コンサート物語に行った日 年 月 日

🎵 場所



アコム株式会社

問い合わせ先

笑顔のおてつだい事務局 (アコム広報・IR室内)

フリーコール 0120 (7878) 07

メールアドレス miru@acom.co.jp

